

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC)
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://suic.shinshu-u.ac.jp/obog/newsletter/suicnewsletter_vol.18.pdf

Vol. 18 — 2009. 3. 26

■□ 信州大学国際交流センター ニュースレター □■

Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

■ 発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

▼△ 今号のもくじ △▼

- * ごあいさつ
 - * 最近の出来事
 - * スタッフ近況報告 (谷口先生)
 - * 生活ちょっとコラム (マスクとカワイイ)
-

■□

□ ごあいさつ

☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。° ☆。.:*。°

3月、春です！大学は、講義も試験も終了し、キャンパスはとても静かです。21日より各学部毎に卒業式があり、来月初旬には入学式があります。卒業生も新入生も、4月からスタートする新しい生活に大きな期待を寄せていることと思います。四字熟語、「前途洋々(ぜんとようよう)」が浮かんできました。意味は、「将来が希望に満ちていること。前途が豊かで盛んな予感の持てること。」だそうです。卒業・入学される皆さんに贈りたいと思います。修了生の皆様には、「順風満帆(じゅんぷうまんぱん)」でしょうか？意味は、「追い風に帆をいっぱいにくらませているように、物事が快調に進むようす。」だそうです。そして、私はと言えば、遠い昔の、皆様ぐらいの年齢だった頃の気持ちを思い出し、初心に帰って頑張るぞ！と、自分に言い聞かせているこの頃です。

■□

□ 最近の出来事

▼

08年12月～09年3月のトピックスです！

-12月-

1) 多国籍料理体験！パーティー

松本市の留学生応援ファミリーの会と信州大学留学生会との共催で、12月13日に、各国の料理をその場で作って食べるパーティーが開催されました。

今年は8カ国の料理がテーブルに並びました。おいしくご馳走をいただき、最後はビンゴゲームで盛り上がりしました。

参加者 116人

留学生 60人

一般他 56人

参加国籍 13か国 (中国、韓国、インドネシア、ロシア、スペイン、マレーシア、ドイツ、ベトナム、タイ、ベナン、アフガニスタン、オーストラリア、アメリカ)

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kokusai/ouen/2008/xmas2008/index.html>

-1月-

2) アンボン・ウィエグウェウさん(タイ人留学生/総合工学系研究科博士課程)が、信州大学理学部生物科学科の浅見崇比呂准教授と東邦大学理学部生物学科の関啓一研究員と共に研究してきた成果が、1月13日、イギリスの「Biology Letters」オンライン版に、注目論文として掲載されました。「Biology Letters」は、革新的かつ最先端の研究を出版しているイギリス王立協会の速報誌です。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2009/01/biology-lettersamporn-wiwegweaw.html>
<http://rsbl.royalsocietypublishing.org/content/firstcite>

3) 「信州大学山岳科学総合研究所国際シンポジウム2008『リモートセンシング/地理情報による生物の管理と分布動態の解析』」が、1月24日に農学部で開催されました。

カナダ天然資源省太平洋森林センターのDr. Francois A. Gougeonの基調講演に続き、バングラデシュから留学中の Zaman Souravi さん他3名の研究者の講演がありました。

<http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/event/08/090115event01.pdf>

4) 工学系研究科機能高分子学専攻修士課程2年の藤野望さんが、2008年の12月16-18日に開催された第8回ナノ分子エレクトロニクス国際会議で、優秀ポスター賞を受賞しました。

分子エレクトロニクスやフォトンクスを中心にした国際会議で、225名の参加を集め行われ、総数152件のポスター発表の中から10件が、同賞に選ばれました。

論文のタイトルは、「A New Molecular Thermometer Based on Photoluminescence of CuTPP」(CuTPPの発光の基づく新しい分子温度計)です。

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/tagblocks/faculty/news/topics/0000000256.html>

5) Let's Ski!! スキー体験

松本市の留学生応援ファミリーの会主催によるイベントが、1月31日、松本市内の乗鞍高原いがやスキー場で開催されました。参加留学生数は12ヶ国より41人、同ファミリーの会からの参加者を含めると総勢84人！午前中は、インストラクターから講習を受け、午後は自由に滑りました。その後は、温泉でゆっくり、ゆったり。楽しい1日だったようです。

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kokusai/ouen/2008/ski2009/index.html>

-2月-

6) 医学部医学科4年 岡本将輝さんがコスモス文学新人賞受賞！

文芸同人会「コスモス文学の会」(長崎県)主催の第108回コスモス文学掌編小説部門で新人賞を受賞しました。青年が生きる意味を見いだしていく過程を詩的に表現した作品です。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2009/02/post-13.html>

7) 2006年度到北京外国語大学から信大に留学していた岳遠坤さんが翻訳(共同)した山岡荘八著「徳川家康」が、2007年11月の発刊以降、200万部を超える大ベストセラーとなり、中国メディアの記者が選ぶ「08年の良書」の外国文学部門のトップに輝きました。

<http://fan.shinshu-u.ac.jp/senkou/nihonbungaku/>

8) 同じく北京外国語大学から信大に留学中の吳志虹さんが、京都外国語大学の彭飛教授や村上春樹の小説の翻訳で知られる林少華さんらと共に、田辺聖子著の「新源氏物語」を翻訳し、上海の出版社から発売されました。867ページの大作です。上述の「徳川家康」同様、ベストセラーとなることを期待しています。

9) 「松本留学生応援ファミリーの会」創立20周年記念パーティーが、2月26日に開かれました。

「松本留学生応援ファミリーの会」は留学生との交流事業、ホームステイの受入れ、松本ぼんぼんに参加など、日常的な家族ぐるみのふれあいを通じて、海外から単身で訪れた学生の支えとなる活動をしています。出席者には、これまでの活動を記録した記念誌が配布されました。

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/daisuki/hoso/200902/20090226/index.html>

10) 日中友好スキー交流회가、2月28日~29日(一泊二日)に乗鞍高原で開かれました。今年で32回目となる長野県日中友好協会の恒例の行事です。

留学生37名、協会のメンバーの43人と共に大いに楽しんだようです。

-3月-

11)『運動・遺伝子・予防医療』—成果報告会と国際シンポジウム—が、「連携融合事業：熟年体育大学リサーチセンターにおける遺伝的背景を考慮した個別健康指導の確立」の主催により、3月16日に開催されました。

午前中は成果発表に続き、午後からは、米国のエール大学、ベルギーのカトリック大学ルーヴェン、タイのウダヤナ大学をお迎えし、シンポジウムがありました。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/event/2009/03/45607.html>

★

スタッフ近況報告 ～ 谷口先生 （国際交流センター非常勤講師）

★

この間、松本のキャンパスを歩きながら留学生のみなさんを見ていたら、学生時代（30年前）に旅をした国々を思い出しました。

まだ今より平和で、「夜は一人歩きしない」などのルールを守れば、女性一人でも世界中を歩き回れたよき時代でした。（もちろん今も一人旅は可能でしょうが、年々、治安が悪化しているようです）

いつも貧乏旅行で、駅や公園で寝たり長い時間バスにゆられたりして、大変でしたがおもしろかったです。

たくさんの国を歩きながら、たくさんの人に出会うことができました。そのときによく言われる「ことばはなくても・・・」は、私に「ことばを理解したい!」という思いを強くさせました。でもそれは旅人である私にとっては不可能なこと、教えてもらった単語を繰り返すのが精一杯です。それでも、一言でも現地のことばを使うと相手も喜んでくれました。その学生時代の「旅とことば」の経験が、私が日本語教師になろうと考えた原点かもしれません。

現在、松本と東京を毎週行ったり来たりの旅を続けています。都会のビルの谷間で見える夕日も、信州の山に沈む夕日も美しいです。

有名な場所や外国へ旅するのもいいけれど、自分のうちのまわりを散歩するのも、旅の一つだと思いませんか。ましてやみなさんは日本にいる（いた）のだから、いいチャンスです。

パソコンの前を離れて、夜はゆっくり寝て、朝ちょっとだけ早起きをする日を時々作って、日本を、長い人生のひと時を楽しんで帰ってください。

また、帰国したみなさんは、自分の国で、これから訪れる国で、新たな人生の旅を楽しんでください。みなさんのご活躍をお祈りいたします。

たにぐち ひでみ

■□

□ 信大NOW

50号までは、掲載内容をURLと共に紹介して来ましたが、51号以降は信大のウェブサイトにてアップされていないため省略いたします。

★

生活ちょっとコラム （マスクとカワイイ）

★

▼

日本人は、マスクを日常的に着用する率がとても高いのだそうです！えっ、そうなの？ と、マスクを着け、この原稿を書いています。

花粉症なので、毎年3月から4月、マスクなしでは、仕事になりません。

この日本の「普通」は、海外では決して普通ではなく、マスクを着けるのは、重篤なまたは伝染性の疾病の病人及びその病人の治療にあたる医療スタッフのみだそうです。そうかあ、確かにかわいいとは言えないけれど、、

かわいい、いえ、「カワイイ」といえば、いまや「マンガ」同様、日本発の文化の1ジャンルようです。日本に対する一層の理解や信頼を得る上で、世界的に若者の間で人気の高い日本のポップカルチャーをさらに積極的に活用しようと、外務省は、3人の若手リーダーを「かわいい大使」に任命し広報関連業務等を委嘱しました！一体どんな業務なんでしょう？？？

=====修了者データベース登録のお願い=====

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。
まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力ください。
また、このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからできます。

http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/isc/regi_form.html

=====

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：河野
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
Tel: 0263-37-2865 / Fax: 0263-37-2181
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

- ・ 各種お問い合わせ
- ・ 配信停止希望
- ・ メールアドレスの変更のご連絡
- ・ 情報掲載のご希望
- ・ ご意見、ご感想 …など
